

1

小・中学校

【学務課、施設課】

本市は、首都圏近郊都市として昭和 30 年代後半から急速に発展し、人口は増加の一途をたどってきた。この間、児童生徒数も激増を続け、昭和 40 年代、50 年代は、児童生徒を受け入れる学校施設の対応に追われ、分離新設や増築を行ってきた。昭和 60 年に小・中学校各 1 校の開校後、平成 19 年に統合により小学校 1 校が減少、令和 3 年には小学校 1 校を新設した。その後、令和 5 年に中学校 1 校を統合し、現在小学校 55 校、中学校 26 校の配置に至る。

教育環境の充実のために、船橋市公共建築物保全計画に基づき、事業費や運営費のコスト縮減を図り、学校施設の適切な維持管理及び計画的な整備を行い、老朽化対策等を効果的・効率的に進める。

1 小学校数等の年次推移

(各年 5 月 1 日現在)												
年度 区分	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
学校数	54	54	54	54	54	54	54	54	55	55	55	55
学級数	1,036 (46)	1,047 (46)	1,047 (46)	1,048 (52)	1,063 (56)	1,070 (61)	1,068 (68)	1,070 (74)	1,062 (81)	1,059 (83)	1,058 (93)	1,042 (108)
児童数	32,403 (252)	32,634 (261)	32,851 (276)	33,081 (303)	33,308 (336)	33,549 (382)	33,469 (433)	33,331 (462)	32,975 (499)	32,657 (518)	32,105 (578)	31,291 (667)

※（ ）は特別支援学級児童で外書

2 市立小学校一覧

区分 No.	学校名	創立年月	学級数	児童数	プール・体育館の建設年度	
					プール	体育館
1	船橋小	明治 5 年	17(3)	478(20)	平成 26 年度	平成 26 年度
2	湊町小	昭和 26 年 4 月	17(4)	459(27)	昭和 48 年度	昭和 50 年度
3	南本町小	昭和 44 年 4 月	14(1)	384(3)	昭和 45 年度	昭和 48 年度
4	宮本小	明治 6 年 1 月	34	1,070	昭和 63 年度	昭和 50 年度
5	若松小	昭和 44 年 4 月	21(1)	677(1)	昭和 53 年度	昭和 53 年度
6	峰台小	昭和 30 年 9 月	26(2)	793(13)	平成 7 年度	昭和 49 年度
7	市場小	昭和 60 年 4 月	9(3)	239(21)	昭和 59 年度	昭和 59 年度
8	海神小	明治 6 年 5 月	19(2)	547(13)	昭和 47 年度	昭和 49 年度
9	西海神小	昭和 28 年 4 月	24(2)	756(13)	昭和 52 年度	昭和 52 年度
10	海神南小	昭和 52 年 4 月	16(1)	470(5)	昭和 52 年度	昭和 53 年度
11	葛飾小	明治 25 年 8 月	31(4)	1,007(28)	昭和 54 年度	昭和 49 年度
12	小栗原小	昭和 27 年 4 月	27(1)	867(5)	昭和 51 年度	昭和 48 年度
13	八栄小	明治 6 年 6 月	31	998	昭和 46 年度	昭和 49 年度
14	夏見台小	昭和 48 年 4 月	20(4)	600(26)	昭和 49 年度	昭和 52 年度
15	高根小	明治 17 年	9	210	昭和 45 年度	昭和 50 年度
16	高根東小	昭和 47 年 4 月	16	476	昭和 57 年度	昭和 51 年度

教育委員会

区分 No.	学校名	創立年月	学級数	児童数	プール・体育館の建設年度	
					プール	体育館
17	金杉小	昭和 53 年 4 月	11(2)	244(15)	昭和 52 年度	昭和 52 年度
18	三咲小	明治 11 年 11 月	24(7)	763(43)	昭和 56 年度	昭和 47 年度
19	二和小	昭和 53 年 4 月	18(2)	503(9)	昭和 53 年度	昭和 53 年度
20	八木が谷小	昭和 48 年 4 月	17	517	昭和 51 年度	昭和 52 年度
21	八木が谷北小	昭和 52 年 4 月	11(2)	252(11)	昭和 52 年度	昭和 53 年度
22	咲が丘小	昭和 58 年 4 月	6	141	昭和 57 年度	昭和 57 年度
23	金杉台小	昭和 46 年 4 月	12	255	昭和 46 年度	昭和 52 年度
24	法典小	明治 6 年 2 月	30(4)	976(26)	昭和 62 年度	昭和 48 年度
25	丸山小	昭和 51 年 4 月	12(1)	313(4)	昭和 51 年度	昭和 53 年度
26	法典東小	昭和 42 年 4 月	30(4)	947(26)	昭和 45 年度	昭和 51 年度
27	法典西小	昭和 59 年 4 月	21(1)	628(7)	昭和 58 年度	昭和 58 年度
28	塚田小	明治 22 年 10 月	28	884	昭和 43 年度	昭和 48 年度
29	行田東小	昭和 51 年 4 月	14(3)	402(22)	昭和 51 年度	昭和 53 年度
30	行田西小	昭和 51 年 4 月	15(8)	422(55)	昭和 51 年度	昭和 53 年度
31	前原小	昭和 31 年 4 月	24(3)	738(19)	昭和 46 年度	昭和 53 年度
32	中野木小	昭和 35 年 10 月	32(3)	1,025(17)	昭和 45 年度	昭和 51 年度
33	二宮小	明治 32 年 6 月	15(5)	479(29)	昭和 45 年度	昭和 49 年度
34	飯山満小	昭和 44 年 4 月	25(3)	798(17)	昭和 45 年度	昭和 52 年度
35	飯山満南小	昭和 50 年 4 月	18(1)	547(4)	昭和 50 年度	昭和 52 年度
36	芝山東小	昭和 52 年 4 月	12(2)	314(11)	昭和 52 年度	昭和 53 年度
37	芝山西小	昭和 54 年 4 月	12(2)	360(11)	昭和 54 年度	昭和 54 年度
38	七林小	昭和 55 年 4 月	13	406	昭和 54 年度	昭和 54 年度
39	薬円台小	昭和 25 年 4 月	18(6)	561(37)	昭和 41 年度	昭和 50 年度
40	薬円台南小	昭和 49 年 4 月	16(1)	479(7)	昭和 49 年度	昭和 50 年度
41	田喜野井小	昭和 56 年 4 月	12	323	昭和 55 年度	昭和 55 年度
42	三山小	昭和 35 年 4 月	16(2)	443(10)	昭和 44 年度	昭和 50 年度
43	三山東小	昭和 57 年 4 月	16	429	昭和 56 年度	昭和 56 年度
44	高根台第二小	昭和 37 年 9 月	18(2)	546(15)	昭和 45 年度	昭和 50 年度
45	高根台第三小	昭和 47 年 4 月	12(7)	340(45)	昭和 47 年度	昭和 51 年度
46	高郷小	昭和 43 年 4 月	17	498	昭和 45 年度	昭和 51 年度
47	習志野台第一小	昭和 42 年 4 月	23(1)	712(6)	昭和 44 年度	昭和 48 年度
48	習志野台第二小	昭和 45 年 4 月	21(4)	626(25)	昭和 46 年度	昭和 49 年度
49	古和釜小	昭和 43 年 4 月	14(1)	399(6)	昭和 45 年度	昭和 50 年度
50	坪井小	昭和 50 年 4 月	38	1,224	昭和 50 年度	昭和 50 年度
51	大穴小	昭和 46 年 4 月	13(2)	411(11)	昭和 46 年度	昭和 51 年度
52	大穴北小	昭和 52 年 4 月	19	588	昭和 52 年度	昭和 53 年度
53	豊富小	明治 6 年 5 月	6	125	昭和 43 年度	昭和 48 年度
54	小室小	昭和 54 年 4 月	15(1)	418(4)	昭和 53 年度	昭和 53 年度
55	塚田南小	令和 3 年 4 月	37	1,224	令和 2 年度	令和 2 年度
学級数・児童数合計			1,042(108)	31,291(667)		

※（ ）は特別支援学級児童で外書

3 中学校数等の年次推移（各年 5 月 1 日現在）

年度 区分	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
中学数	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	26
学級数	433 (25)	430 (25)	435 (27)	433 (29)	432 (30)	428 (30)	431 (34)	433 (35)	444 (40)	444 (43)	439 (48)	438 (52)
生徒数	14,572 (158)	14,715 (153)	14,855 (154)	14,711 (177)	14,841 (185)	14,730 (186)	14,863 (194)	15,037 (208)	15,303 (235)	15,371 (269)	15,368 (282)	15,243 (308)

※（ ）は特別支援学級生徒で外書

4 市立中学校一覧

区分 No.	学校名	創立年月	学級数	生徒数	プール・体育館の建設年度	
					プール	体育館
1	船橋中	昭和 22 年 5 月	31(2)	1,170(13)	平成 5 年度	昭和 46 年度・平成 5 年度(武道)
2	湊中	昭和 36 年 4 月	12(3)	415(12)	昭和 48 年度	昭和 42 年度
3	宮本中	昭和 22 年 5 月	24(4)	873(25)	昭和 46 年度	昭和 46 年度
4	若松中	昭和 44 年 4 月	13(2)	430(10)	昭和 53 年度	昭和 53 年度
5	海神中	昭和 22 年 5 月	21	766	昭和 49 年度	昭和 40 年度
6	葛飾中	昭和 22 年 5 月	30(2)	1,059(9)	昭和 54 年度	昭和 44 年度
7	行田中	昭和 51 年 4 月	26(3)	917(18)	昭和 55 年度	昭和 51 年度
8	法田中	昭和 22 年 5 月	16(4)	544(28)	昭和 53 年度	昭和 49 年度
9	旭中	昭和 60 年 4 月	24(3)	848(17)	昭和 59 年度	昭和 59 年度
10	御滝中	昭和 24 年 4 月	26(3)	972(20)	昭和 48 年度	昭和 41 年度
11	高根中	昭和 48 年 4 月	12	363	昭和 55 年度	昭和 49 年度
12	八木が谷中	昭和 54 年 4 月	18(4)	589(29)	平成 2 年度	昭和 53 年度・平成 2 年度(武道)
13	前原中	昭和 36 年 4 月	25	898	昭和 51 年度	昭和 43 年度
14	二宮中	昭和 22 年 5 月	21(7)	745(50)	平成 3 年度	昭和 40 年度・平成 3 年度(武道)
15	飯山満中	昭和 58 年 4 月	10(2)	331(10)	昭和 57 年度	昭和 57 年度
16	芝山中	昭和 52 年 4 月	9	279	昭和 54 年度	昭和 52 年度
17	七林中	昭和 52 年 4 月	15(1)	513(2)	平成元年度	昭和 52 年度・平成元年度(武道)
18	三田中	昭和 49 年 4 月	19(2)	633(10)	昭和 60 年度	昭和 49 年度・昭和 60 年度(武道)
19	三山中	昭和 56 年 4 月	9	296	昭和 57 年度	昭和 55 年度
20	高根台中	昭和 36 年 9 月	12(4)	406(24)	昭和 56 年度	昭和 41 年度
21	習志野台中	昭和 42 年 4 月	18(3)	647(20)	昭和 50 年度	昭和 45 年度
22	古和釜中	昭和 47 年 4 月	7	215	平成 3 年度	昭和 48 年度・平成 3 年度(武道)
23	坪井中	昭和 55 年 4 月	17	613	平成 2 年度	昭和 54 年度・平成 2 年度(武道)
24	大穴中	昭和 54 年 4 月	15(2)	526(10)	平成元年度	昭和 53 年度・平成元年度(武道)
25	豊富中	昭和 22 年 5 月	3(1)	80(1)	昭和 50 年度	昭和 42 年度
26	小室中	昭和 54 年 4 月	5	115	昭和 53 年度	昭和 53 年度
学級数・生徒数合計			438(52)	15,243(308)		

※（ ）は特別支援学級生徒で外書

2 特別支援学校

【特別支援学校】

1 概要

養護学校教育の義務制に係る政令（昭和 48 年 11 月 20 日）が公布され、県・市の教育行政の見通しの中で、市立養護学校設置が定められ、昭和 54 年 4 月 12 日開校となった。

平成 19 年 4 月 1 日校名を「船橋市立船橋養護学校」から「船橋市立船橋特別支援学校」と変更した。平成 21 年 4 月 1 日旧船橋市立高根台第一小学校跡地に小学部が移転し、「船橋市立船橋特別支援学校高根台校舎」が開校した。

①金堀校舎

○所在地……………金堀町 349-1

○施設……………管理棟、中学部棟、高等部棟、食堂、体育館、プレイルーム、中学部作業棟、高等部作業棟、プール、機械室、運動場

○敷地面積……………22,979.03 m²

②高根台校舎 ※子育て支援センター及びたんぽぽ親子教室が併設。

○所在地……………高根台 2-1-1

○施設……………校舎、体育館、プール、ランチルーム、運動場

○敷地面積……………15,755.12 m²

2 児童生徒の現況（5 月 1 日現在）

（1）金堀校舎

< 中学部（生徒数） >

学年	1	2	3	計
男	21	30	21	72
女	13	10	12	35
計	34	40	33	107

< 高等部（生徒数） >

学年	1	2	3	計
男	42	30	44	116
女	17	15	17	49
計	59	45	61	165

（2）高根台校舎

< 小学部（児童数） >

学年	1	2	3	4	5	6	計
男	23	29	28	19	21	20	140
女	4	3	3	6	7	6	29
計	27	32	31	25	28	26	169

3 学校給食

【保健体育課】

小学校全校及び特別支援学校は、完全給食（単一献立）を実施している。

また、中学校では、平成 5 年度より選択制の完全給食を順次開始し、16 年度開始の豊富中学校ですべて実施となった。これにより、小・中・特別支援学校全校で完全給食が実施された。

○令和 6 年度学校給食実施状況

区分 \ 項目	学校数	給食(1 日あたり)
小学校	55	34,073
中学校（選択給食）	26	16,678
特別支援学校	1（2 校舎）	624

1 小学校の給食概要

（1）実施方法

- ① 自校調理…………各校に調理場を設置し、学校ごとに献立を作成し、調理する。
- ② 業務委託（55 校）……調理、配膳、洗浄等の業務を民間業者に委託する。
- ③ 関係職員…………栄養教諭（17 名）または学校栄養職員（38 名）を 1 校につき 1 名配置（計 55 名）
- ④ 給食費(1 食あたり)…………低学年 208 円、高学年 248 円（ともに牛乳代 55.23 円別）

（2）1 食あたり栄養素別基準（令和 6 年度）

栄養素別	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミン A	ビタミン B ¹	ビタミン B ²	ビタミン C	食物繊維	食塩相当量
	(kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(mg)	(μgRAE)	(mg)	(mg)	(mg)	(g)	(g)
文部科学省基準 (8～9 歳)	650	21.1～ 32.5	14.4～ 21.6	350	50	3.0	200	0.40	0.40	25	4.5	2.0 未満

2 中学校の給食概要

（1）実施方法

- ① 自校調理…………各校に調理場を設置し、学校ごとに献立を作成し、調理する。
- ② 選択給食…………弁当または給食（A 献立・B 献立）から選択する。
- ③ 業務委託…………調理、配膳、洗浄等の業務を民間業者に委託する。
- ④ 関係職員…………栄養教諭(10 名)または学校栄養職員(16 名)を 1 校につき 1 名配置(計 26 名)
- ⑤ ランチルーム…各校にランチルームを設置し、全生徒、教職員が一緒に食事をする。

※一部教室での喫食あり。

- ⑥ 給食費(1 食あたり)…………330 円(牛乳代 55.23 円別)

(2) 1食あたり栄養素別基準 (令和6年度)

栄養素別	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB ¹	ビタミンB ²	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	(kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(mg)	(μgRAE)	(mg)	(mg)	(mg)	(g)	(g)
文部科学省基準 (12～14歳)	830	27.0～ 41.5	18.5～ 27.6	450	120	4.5	300	0.50	0.60	35	7.0	2.5未満

3 特別支援学校の給食概要

(1) 実施方法

- ① 自校調理……各校に調理場を設置し、学校ごとに献立を作成し、調理する。
- ② 業務委託……調理、配膳、洗浄等の業務を民間業者に委託する。
- ③ 関係職員……栄養教諭(2名)を1校舎につき1名配置
- ④ 給食費(1食あたり)
高根台校舎……低学年 220 円、高学年 263 円 (ともに牛乳代 55.23 円別)
金堀校舎……311 円(牛乳代 55.23 円別)

(2) 1食あたり栄養素別基準 (令和6年度)

栄養素別	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB ¹	ビタミンB ²	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	(kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(mg)	(μgRAE)	(mg)	(mg)	(mg)	(g)	(g)
文部科学省基準 (8～9歳)	650	21.1～ 32.5	14.4～ 21.6	350	50	3.0	200	0.40	0.40	25	4.5	2.0未満
文部科学省基準 (12～14歳)	830	27.0～ 41.5	18.5～ 27.6	450	120	4.5	300	0.50	0.60	35	7.0	2.5未満

4 高等学校

【市立高校】

1 概要

本市内には高等学校が 16 校あり、そのうち県立が 10 校、私立が 5 校、市立が 1 校ある。市立船橋高等学校は、昭和 32 年 4 月に普通科、商業科の 2 学科をもって開校された。その後、校舎の老朽化等のために全面改築がなされ昭和 55 年 6 月 20 日に校舎が完成した。

また、昭和 58 年 4 月に体育科が創設され、昭和 59 年 3 月体育科校舎が完成した。現在は 1 学年普通科 6、商業科 2、体育科 2 学級が設置されている。

○名称 市立船橋高等学校

○所在地 市場 4-5-1

○施設 校地面積 47,999 m²(内運動場面積 25,044 m²)
 校舎等面積 28,641 m²(内校舎面積 14,086 m²)

2 学級数・生徒数（令和6年5月1日現在）

区分	学級数	男	女	計
普通科	18	348	362	710
商業科	6	116	119	235
体育科	6	176	59	235
計	30	640	540	1,180

3 令和5年度卒業生（65回生）の進路状況（令和6年4月1日現在）

令和 5 年度 卒業生 (65 回生)			普 通 科										商業科			体育科			小計		合計	進路別 割合 (%)	
			α コース		文科系 コース		理科系 コース		国際 教養 コース		普通科小計												
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		
卒業生徒数			4	1	79	94	14	8	13	21	110	124	234	40	36	76	60	18	78	210	178	388	
進学	四年制大学	国公立	0	0	1	2	0	0	0	0	1	2	3	1	0	1	2	0	2	4	2	6	76.3
		私立	3	1	62	61	11	6	11	18	87	86	173	29	23	52	53	12	65	169	121	290	
	短期大学	国公立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.8
		私立	0	0	0	5	1	1	0	0	1	6	7	0	2	2	0	2	2	1	10	11	
	専門学校等			0	0	7	23	1	1	1	2	9	26	35	3	7	10	2	3	5	14	36	50
公務員			0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	1	1	2	0	0	0	3	1	4	1.1
就 職			0	0	4	3	0	0	0	0	4	3	7	2	2	4	3	1	4	9	6	15	3.8
その他 (浪人、自営業)			1	0	3	0	1	0	1	1	6	1	7	4	1	5	0	0	0	10	2	12	3.1
合計			4	1	79	94	14	8	13	21	110	124	234	40	36	76	60	18	78	210	178	388	100.0

5 総合教育センター

【総合教育センター】

1 施設の概要

- 所在地 東町 834
- 敷地面積 11,874.12 m²
- 建築面積 2,289.19 m²
- 延床面積 5,328.82 m²
- 建築構造 本館：鉄骨鉄筋コンクリート造り 8 階建て
プラネタリウム館：鉄筋コンクリート造り平屋建て
- 起工 昭和 60 年 12 月 25 日
- 竣工 昭和 62 年 3 月 15 日

2 業務内容

(研究研修)

(1) 教育関係職員研修の企画運営

- 専門性を高める研修及び今日的な教育課題に応える研修の充実
 - ・学校教育に関する研修の開催 (79 研修)
 - ・学社連携に関する研修の開催 (1 研修)
 - ・オンデマンドによる動画視聴研修 (2 研修)

(2) 教育課程に関する研究委員会事業等の推進 (委嘱事業)

- 研究委員会事業
- 社会科副読本編集委員会事業
- 算数・数学チャレンジふなばし実施委員会事業

(3) 教職員の研究研修の奨励と成果の普及 (委託事業)

- 本市教育課題に関連した先進地域等の調査研究・社会体験研修の充実
 - ・教育事情調査研究協議会の設置
 - ・教務主任研究協議会の設置

(4) 児童生徒の主体的な研究奨励事業の推進

- 社会科作品展事業
- 科学論文・工夫作品展事業
- 算数・数学チャレンジふなばしの開催

(5) 教育図書・資料等、教育情報の収集・管理・提供

- 教育図書・資料等の収集
- 蔵書データの電子情報化及び図書貸出しシステムの運用

(6) 教育研究論文の募集と論文集の刊行

(7) 教育委員会及び教育機関の事業内容、学校の創意ある実践等についての広報活動

- 「要覧」の発行 年 1 回
- 教育情報誌「まなびの風」の発行 年 4 回
- 「教育図書資料室だより」の発行 年 6 回

- その他の広報活動
- (8) 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方研究協力者会議
 - 幼小接続協力者会議の開催 年3回
 - 幼保小連携のための合同研修会 年2回
 - 報告書の発行 年1回
- (9) プラネタリウム一般投映事業
 - プラネタリウム一般投映
 - プラネタリウム特別投映
- (10) プラネタリウム学習投映事業
- (11) 科学教育推進事業
 - 星を見る会（市民対象）
 - 科学の広場
 - 広報・普及活動
- (12) 理科学習情報・素材の提供事業
 - 理科教育への支援
 - 「理科なんでもサポートデスク」等
 - 不用化学薬品・実験廃液の回収
- (13) 学習バス管理運営事業
- (14) プラネタリウム館展示ホール及び天体望遠鏡更新事業
- (15) 教育フェスティバルの開催

(情報教育)

- (1) 情報活用能力に関する指導・支援
 - I C Tの基本的な機器操作スキルの育成
- (2) 情報教育に関する研究指定
 - 研究校に関する支援や助言、連絡調整
- (3) I C T活用の指導・支援
 - I C T支援員による学校支援
- (4) 遠隔・オンライン教育の推進
 - オンライン配信等の技術支援
 - 遠隔教育連絡協議会の実施
- (5) 校務支援システムに関する運用・改善
 - 利用実態に関するアンケート調査
 - 各種操作マニュアルの作成
 - 関係各課との連絡・調整
 - 運用面での工夫改善
- (6) 教育情報データベースの運用
 - 教育情報の収集と提供
- (7) 教育用I C T機器の導入、整備・運用
 - 教育用I C T機器の導入整備

○船橋市コンピュータ・ネットワーク推進専門部会（F C N）の開催

(8) 市内ネットワーク及びI C T機器の運用管理

○市内イントラネット及びインターネット利用環境の運用管理

○コンピュータ等の障害対応及び技術的支援

○情報処理技術者等の活用

○電子メール利用環境提供

○市内ネットワークの業務利用

6 教育支援室

【教育支援室】

1 施設の概要

○所在地

- ・教育相談・特別支援教育 東町 834（総合教育センター内）
- ・第1サポートルーム「ひまわり」 宮本 6-33-1（峰台小学校敷地内）
- ・第2サポートルーム「すずらん」 松が丘 3-69-1（古和釜中学校内）

2 業務内容

（教育相談）

（1）教育相談活動

対象 本市に在住する児童生徒、保護者及び教育関係職員

相談日時 月曜日～金曜日（午前9時00分～午後5時00分）

（2）スクールソーシャルワーカーの配置

（サポートルーム）

（1）不登校児童生徒への学習支援、小集団活動、個別相談等を通して、社会的自立に資することを基本とした支援をする。

対象 本市相談機関で個別相談を受けている者のうち本人及び保護者が希望し、在籍校の校長が認めた者

通室日時 月～金曜日（午前10時00分～午後3時00分）

（特別支援教育）

（1）就学相談・教育相談等に関すること。

（2）特別支援教育関係全般に関すること。

7 社会教育

1 令和 5 年度事業概要

【社会教育課、青少年課、中央公民館】

(1) 令和 5 年度成人式【社会教育課】

昭和 26 年より「成人の日」を記念して、二十歳を迎えた市民を祝い励ます式典を実施している。式典の司会・二十歳のアピールは、成人式対象者が担当している。

令和 6 年 1 月 8 日に船橋市総合体育館（船橋アリーナ）で開催した。対象者は 6,101 人。

(2) 生涯学習フェア【社会教育課】

令和 5 年度は、「船橋ってどんなところ？ 知れば知るほどおもしろい！」をテーマに、ふなばし市民大学校まちづくり学部生涯学習コーディネーター養成学科及びスポーツコミュニケーション学科の学生が企画・運営した。2 月 4 日と 2 月 11 日で全 6 講座を企画し、252 名が参加した。

(3) 学校支援地域本部事業【社会教育課】

地域の人々がボランティアとして、学習支援活動、環境整備、登下校安全指導等を行い、地域全体で学校を支援していく体制づくりを中学校区ごとに推進し、その活動に要する印刷製本費、消耗品費などの経費に対して交付金を交付している。令和 5 年度は 23 中学校区で実施した。

(4) まちづくり出前講座【社会教育課】

市民が主催する集会に市の職員等が講師として出向き、市の事業や施策などについて話す事業で、令和 5 年度は 233 件開催され、延べ 8,837 人の利用があった。

(5) 生涯学習サポート事業【社会教育課】

自主的に「何かを学びたい、体験したい」と思った市民に対し、能力・特技ある人々の情報を、講師・指導者として紹介することで、市民の生涯学習を無償でサポートする事業で、令和 5 年度は 12 回開催され、延べ 326 人の利用があった。

(6) 初心者のためのパソコン講習会【社会教育課】

パソコン初心者を対象とした講習会を民間事業者に委託し実施した。

全 8 コース（5 時間×2 日間/1 コース）

申込み総数 159 人 受講者数 132 人

年齢別の受講者 10～49 歳 10 人、50～59 歳 17 人、60～69 歳 27 人、70～79 歳 51 人、
80 歳以上 23 人、不明 4 人

(7) 家庭教育セミナー【中央公民館】

PTA 等と連携し、家庭の教育力の向上を目的に家庭教育に関すること、親子のふれあいや子供との関わり方に関することなどについて学習した。

令和 5 年度は幼稚園 2、小・中学校 11、公民館本館 16 の合計 29 事業を実施し、延べ参加者は 4,825 人であった。

(8) 就学時健診等における子育て学習【中央公民館】

子育てやしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭の教育力を高めるために子育て講座を実施した。

令和 5 年度は、就学時健診を活用し 54 校の小中学校で、翌年、新 1 年生となる幼児をもつ保護者を対象に子育て講座を実施した。

教育委員会

(9) 家庭教育相談【青少年課】

幼児から高校生までのしつけ・遊びなど、家庭教育上の悩みや問題等を持つ保護者を対象として、相談の場を設けた。月2回市内の公民館等を会場にして面接相談を実施し、それ以外に電話による相談も受け付けている。

(10) 高齢者学級【中央公民館】

高齢者を対象とした一般教養、趣味活動及び健康保持のための学習をすべての公民館で実施し、延参加者は14,438人であった。

2 公民館

【中央公民館】

◎開館時間 午前9時～午後9時30分

◎休館日 毎月最終月曜日（ただし、最終月曜日が28日の場合は、その前の週の月曜日が休館日）、
年末年始、祝休日

公民館名	設置日	施設 (㎡)	集会室	和室	講堂	実習室	視聴覚室	体レク室	音楽室	図書室	管内人口 (人)	利用人員 (人)	併設施設
中央	昭和24年4月1日	7階建 延面積 5,660	9	3	1	1	1	1	1		32,103	192,415	市民文化ホール
浜町	昭和56年4月1日	3階建 延面積 2,003	3	1	1	1		2	1	1	14,973	68,488	老人憩の家
宮本	昭和63年4月1日	3階建 延面積 1,643	2	2	1	1			1		42,831	64,377	児童ホーム・ 老人憩の家
海神	平成12年4月1日	2階建 延面積 1,726	4	2	1	1			1	1	32,674	65,958	
東部	昭和28年8月1日	4階建 延面積 1,809	3	3	1	1					47,296	53,079	津田沼連絡所
三田	昭和50年4月1日	延面積 875	2	1		1		1			34,544	43,786	三田中学校体育館
習志野台	昭和56年4月1日	3階建 延面積 1,153	3	2	1	1					43,600	65,279	東図書館
飯山満	昭和59年4月1日	2階建 延面積 1,032	3	2	1	1					29,128	37,302	
薬円台	平成3年4月1日	3階建 延面積 1,567	3	2	1	1			1	1	17,959	75,986	児童ホーム・ 老人憩の家
西部	昭和24年4月1日	3階建 延面積 2,418	4	1	1	1		1	1	1	20,379	98,037	児童ホーム・ 老人憩の家
法典	昭和24年4月1日	2階建 延面積 1,415	3	2	1	1			1	1	30,162	61,749	法典連絡所
丸山	昭和60年4月1日	2階建 延面積 1,031	3	2	1	1				1	17,348	37,487	
塚田	昭和61年4月1日	3階建 延面積 1,214	4	2	1	1			1	1	49,149	54,712	児童ホーム・ 老人憩の家
葛飾	平成2年7月1日	6階建 2階部分 延面積 1,308	3	2	1	1			1		44,144	56,572	住宅
北部	昭和29年4月1日	2階建 延面積 1,531	3	1	1	1			1	1	5,580	41,814	豊富出張所
二和	昭和49年4月1日	4階建 延面積 1,805	3	2	1	1			1		17,001	80,216	北図書館・ 二和出張所
海老が作	昭和54年4月1日	延面積 999	3	2	1	1					13,684	42,973	大穴中学校体育館
小室	昭和56年4月1日	2階建 延面積 774	4	2		1				1	6,763	24,096	児童ホーム・ 老人憩の家・ 小室連絡所
八木が谷	昭和58年4月1日	2階建 延面積 1,048	3	2	1	1					23,297	41,766	
三咲	平成元年4月1日	2階建 延面積 1,291	3	2	1	1			1		17,354	49,752	児童ホーム・ 老人憩の家
松が丘	平成5年4月1日	2階建 延面積 1,564	4	2	1	1			1	1	12,608	47,297	
坪井	平成23年2月1日	2階建 延面積 1,899	3	1	1	1			1	1	12,952	50,050	

公民館名	設置日	施設 (㎡)	集会室	和室	講堂	実習室	視聴覚室	体レク室	音楽室	図書室	管内人口 (人)	利用人員 (人)	併設施設
高根台	平成 8 年 4 月 1 日	4 階建 延面積 1,982	4	2	1	1			1	1	12,461	82,558	高根台出張所・ 老人憩の家・ 高根台ボランティア室
夏見	昭和 27 年 4 月 1 日	2 階建 延面積 943	2	2	1	1					27,627	37,044	
高根	昭和 55 年 4 月 1 日	2 階建 延面積 1,038	3	3	1	1					15,410	19,474	
新高根	平成 2 年 4 月 1 日	2 階建 延面積 1,405	3	2	1	1			1	1	27,567	41,893	児童ホーム・ 老人憩の家

※図書室は図書コーナーを除く。

3 図書館

【西図書館】

館名	西図書館	中央図書館	東図書館	北図書館
所在地	船橋市西船 1-20-50 T E L 047-431-4385 F A X 047-431-4396	船橋市本町 4-38-28 ライブ 2000 T E L 047-460-1311 F A X 047-421-3230	船橋市習志野台 5-1-1 T E L 047-463-3611 F A X 047-463-9490	船橋市二和東 5-26-1 T E L 047-448-4899 F A X 047-448-4824
構造	鉄筋コンクリート造 地上 3 階、地下 1 階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 14 階、地下 2 階 (図書館専用部分 1 階の一部、2 階、3 階)	鉄筋コンクリート造 地上 3 階、地下 1 階	鉄筋コンクリート造 地上 4 階、地下 1 階 (図書館専用部分地下 1 階の一部、1 階、2 階の一部)
敷地面積	1,555.92 ㎡	3,688.61 ㎡	2,431.71 ㎡ (習志野台公民館併設)	4,057.39 ㎡ (二和公民館・ 二和出張所併設)
延床面積	3,092.43 ㎡	3,926.59 ㎡ (図書館専有部分)	2,436.59 ㎡ (図書館専有部分)	3,240.27 ㎡ (図書館専有部分)
開設日	昭和 21 年 11 月 3 日 (昭和 27 年 5 月 1 日移転) (昭和 46 年 1 月 6 日移転) (平成 23 年 10 月 1 日移転) (平成 28 年 10 月 21 日新築移転)	昭和 58 年 10 月 1 日 (平成 12 年 7 月 7 日新築移転)	昭和 56 年 6 月 2 日	平成 3 年 10 月 1 日
開館時間	月～金曜日 9 時 30 分～20 時 土・日曜日・祝休日 9 時 30 分～17 時			
特徴	・郷土資料室 船橋市及び千葉県内の郷土資料の保管、閲覧 ・ギャラリー ・多目的室 ・学習コーナー ・インターネットコーナー	・児童資料室 貴重な児童書及び研究資料の閲覧 ・社史コーナー ・東京湾資料コーナー *平成 29 年 4 月から指定管理者による運営	・移動図書館 移動図書館車 1 台、35 か所巡回 *平成 29 年 4 月から指定管理者による運営	・A V コーナー DVD・ビデオ (VHS) 等の館内視聴、館外貸出し ・共同書庫 *平成 29 年 4 月から指定管理者による運営
休館日	(1) 毎月の最後の月曜日 (2) 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日) (3) 図書整理日 (7・8 月を除く毎月第 2 木曜日、祝休日と重なった場合は翌週の木曜日) (4) 特別図書整理期間			

教育委員会

◎蔵書構成（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（単位：点）

※東図書館は移動図書館を含む。※視聴覚資料は含まない。

館名 分類	西 図書館	中央 図書館	東 図書館	北 図書館	小室 公民館 図書室	丸山 公民館 図書室	塚田 公民館 図書室	高根台 公民館 図書室	海神 公民館 図書室	薬田台 公民館 図書室	坪井 公民館 図書室
総記	10,763	9,778	7,033	20,774	119	175	154	254	170	214	111
哲学	11,191	9,833	6,993	24,172	256	394	415	668	368	633	206
歴史	23,114	22,972	15,109	51,445	565	513	557	1,174	640	831	395
社会科学	29,783	44,415	26,989	93,951	586	830	966	1,505	1,160	1,256	577
自然科学	18,944	22,351	18,038	49,228	768	1,212	1,480	1,836	1,288	1,459	688
技術	15,959	23,089	19,158	48,533	1,060	1,296	1,617	2,048	2,724	2,144	989
産業	7,908	11,088	6,961	21,678	203	334	393	629	735	475	251
芸術	19,849	22,927	14,836	52,404	575	968	1,001	1,616	1,311	1,149	563
言語	5,342	5,482	3,803	9,849	99	188	168	223	156	248	104
文学	76,704	94,516	67,433	185,483	7,339	5,985	6,346	13,043	8,451	10,306	5,228
絵本	13,125	18,837	28,901	17,219	2,725	3,606	4,137	4,280	4,146	4,781	3,045
郷土資料	53,931	13,458	7,056	12,698	95	40	19	155	181	9	23
貴重資料	6,193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	292,806	298,746	222,310	587,434	14,390	15,541	17,253	27,431	21,330	23,505	12,180
雑誌	6,110	11,778	3,123	25,992	90	147	167	533	338	887	460
館名 分類	法典 公民館 図書室	西部 公民館 図書室	新高根 公民館 図書室	三山市民 センター 図書室	浜町 公民館 図書室	北部 公民館 図書室	大穴 小学校 市民図書室	飯山満 公民館図書 コーナー	八木が谷 公民館図書 コーナー	松が丘 公民館 図書室	
総記	180	204	114	71	155	97	164	43	38	49	
哲学	619	515	328	304	271	218	213	110	101	147	
歴史	848	687	514	369	452	434	483	149	97	225	
社会科学	1,151	938	515	347	766	486	497	228	135	237	
自然科学	1,330	1,081	914	604	845	619	563	311	204	465	
技術	1,947	1,715	1,434	1,016	928	665	791	338	256	396	
産業	506	433	261	190	276	218	193	79	81	124	
芸術	1,379	990	549	392	693	542	533	236	170	237	
言語	215	167	122	52	159	91	131	49	35	73	
文学	8,329	5,703	4,922	2,835	4,238	2,188	4,299	1,388	1,400	1,998	
絵本	3,321	3,243	2,603	2,187	2,597	1,852	1,687	1,011	488	1,430	
郷土資料	2	0	32	5	0	4	3	0	0	0	
貴重資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	19,827	15,676	12,308	8,372	11,380	7,414	9,557	3,942	3,005	5,381	
雑誌	171	209	162	0	209	129	168	0	0	116	

◎令和 5 年度利用状況

登録・貸出状況

区分 館名	開館日数 (日)	新規登録者数 (人)	貸出点数(点)			
			一般書	児童書	雑誌	計
西図書館	334	4,425	303,731	157,185	19,325	480,241
中央図書館	151	2,549	244,780	88,502	16,062	349,344
東図書館	335	1,866	342,298	157,235	19,534	519,067
北図書館	334	1,637	235,447	77,052	16,150	328,649
小室公民館図書室	282	64	11,628	5,325	518	17,471
丸山公民館図書室	281	100	28,130	17,605	1,164	46,899
塚田公民館図書室	286	236	44,007	47,477	2,171	93,655
高根台公民館図書室	287	446	66,541	29,410	4,030	99,981
海神公民館図書室	284	94	18,870	17,733	1,630	38,233
薬円台公民館図書室	286	382	76,812	40,839	5,496	123,147
坪井公民館図書室	287	153	22,279	31,072	2,509	55,860
法典公民館図書室	286	261	45,956	31,767	2,344	80,067
西部公民館図書室	283	200	27,965	22,883	1,376	52,224
新高根公民館図書室	286	98	23,641	14,649	902	39,192
三山市民センター図書室	286	118	19,127	10,734	726	30,587
浜町公民館図書室	283	163	24,838	28,966	1,326	55,130
北部公民館図書室	287	48	4,746	2,911	330	7,987
大穴小学校市民図書室	153	80	6,578	4,279	226	11,083
飯山満公民館図書コーナー	262	77	8,222	5,037	99	13,358
八木が谷公民館図書コーナー	281	15	2,038	555	37	2,630
松が丘公民館図書室	284	52	10,235	5,283	464	15,982
東部公民館図書貸出返却窓口	238	27	36,120	8,769	2,005	46,894
夏見公民館図書貸出返却窓口	287	21	16,003	6,296	593	22,892
計		13,112	1,619,992	811,564	99,017	2,530,573

※東図書館の新規登録者数は、移動図書館分を含む。また、東図書館の貸出点数は、移動図書館分と団体貸出し分を含む。

※貸出点数の一般書は、視聴覚資料数を含む。

教育委員会

4 ふなばし市民大学校 概要

【社会教育課】

令和5年度の定員・応募者・入学者・修了者等の状況（単位：人）

学部	学科	定員	応募者	入学者	修了者	目的
まちづくり	ボランティア養成	30	30	28	27	ボランティアや地域貢献活動の基礎学習と実習をとおし、自分に合ったボランティア活動のきっかけづくりを行う。
	スポーツコミュニケーション	30	19	17	17	スポーツをととしたボランティア活動を行うための基礎学習（コミュニケーション、リスクマネジメント、企画等）とともに、初級パラスポーツ指導員の資格取得を目指す。
	生涯学習コーディネーター養成	30	28	25	21	生涯学習の基礎を学び、生涯学習のサポートを行う生涯学習コーディネーターの養成を目指す。
	ふなばしマイスター	30	37	30	30	歴史・文化・産業等の学習研究をとおして“ふなばしの魅力”を再発見し、その魅力を紹介できる人の育成を目指す。
	小 計	120	114	100	95	
いきいき	くらしの教養1	36	51	36	36	ふなばし市民大学校の授業やクラスでの活動をとおして、学生相互の親睦、交流を深め、生きがいがづくり、仲間づくりに貢献することを目的とする。
	くらしの教養2	36	42	36	36	
	こころとからだの健康1	36	40	35	34	
	こころとからだの健康2	36	29	28	27	
	パソコン1	25	27	21	19	
	パソコン2	25	32	25	25	
	パソコン3	25	28	25	24	
	パソコン4	25	32	22	20	
	園芸1	25	33	25	25	
	園芸2	25	32	25	22	
	小 計	294	346	278	268	
合 計		414	460	378	363	

	コース	定員	応募者	参加者	目的
特別講座	パラレルキャリアコース	35	21	20	キャリアの幅を広げていきたい方を対象に、今の仕事を続けながら副業を実践することでキャリアの選択肢を広げる方法を学ぶ。
	ソーシャルビジネスコース	35	33	31	地域を盛り上げたいと考えている方を対象に、地域の課題や強みを整理し、自身の考えるビジネスの実現に向けた一歩を踏み出すきっかけづくりを行う。
合 計		70	54	51	

8 文化行政

1 文化振興

【文化課】

文化を創造し、発展させるのは、市民一人ひとりであり、その活動が活発に行われるよう支援することが必要である。

こうした市民の芸術文化活動に対して、市民参加型の文化事業を推進し、優れた芸術文化にふれる機会を増やすことを目的に各種の事業を開催している。

令和 5 年度事業概要

(1) 第 36 回船橋市文学賞

市内在住、在勤、在学、市内の公民館等で文芸活動に参加している方を対象に公募を行った。小説 28 編、児童文学 20 編、詩 55 編、短歌 15 編、俳句 21 編、合計 139 作品の応募があり、文学賞 4 編、佳作 11 編が選ばれ、受賞作品を収載した第 36 回船橋市文学賞作品集を発行した。文学賞の作品募集に先立ち、俳句部門の選者である能村研三氏の講座を行った。

(2) 第 28 回ふなばし音楽フェスティバル

屋内外の会場で様々なジャンルの演奏を行い、船橋駅周辺を音楽で包み込む「ふなばしミュージックストリート」、船橋アリーナを会場に、市内の小・中・高校や一般の音楽団体が一堂に会し、音楽を通して市民と交流する「音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭」の 2 事業は、千葉県誕生 150 周年記念事業補助金を活用し、それぞれ規模を拡大して実施した。また、公民館など市民に身近な場所で、プロの音楽家などの生演奏を気軽に聞ける「地域ふれあいコンサート」は、市内 15 カ所で開催した。

※まちかど音楽ステージは新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(3) ロビーコンサート

毎月（8 月を除く）第 3 水曜日に市役所ロビーにおいて、「昼の憩いのひととき」として、市民及び職員を対象に爽やかな音楽を提供し、音楽関係者の発表の場及び音楽普及活動の一つとした。

出演者数 19 人(11 組)

観覧者数 982 人

(4) 文化活動普及事業

今年度より（公財）船橋市文化・スポーツ公社（現（公財）船橋市公園協会）にコーディネート業務を委託し、アーティスト等を小中学校等 20 校に派遣し授業を行うことで、子供たちが文化活動に直接触れ合う機会を設け、文化を身近に感じてもらうとともに、豊かな心や創造性を育む機会を提供した。

(5) 所蔵作品活用事業

令和 5 年度出張美術展「どこかで見た不思議な風景」を郷土資料館にて開催。また、令和 5 年度市所蔵作品展「フナバシストーリー 北井一夫」を、（公財）船橋市文化・スポーツ公社との共催で、市民ギャラリーを会場に開催した。

(6) 文化団体との事業

日舞祭、合唱祭、三曲祭は市民文化ホールで、美術展覧会（市展）、いけばな展、写真展は市民ギャラリーにて開催。なお、写真展は公募作品をホームページにてスライドショー形式で公開する Web 展覧会としても実施した。

(7) 共催・後援事業等

茶道、民謡民舞、吟剣詩舞、謡曲、人形劇、演劇等様々な分野における文化活動に対して、共催、後援等の支援を行った。

(8) 船橋市文化振興推進協議会

令和 4 年 3 月に策定した第 2 次船橋市文化振興基本方針に沿って、本市の文化関連事業の進捗管理を行った。また、市内の文化施設のイベント情報を一つにまとめた Web 版フリーペーパー「BUNBUN Funabashi.」を隔月発行した。

2 文化財

【文化課】

急激な都市化の進展にともない、貴重な埋蔵文化財や民俗文化財の保護と活用は急務となっている。平成 28 年度から、国史跡指定をめざし約 1 万年前の希少な貝塚である取掛西貝塚保存事業を開始し、令和 3 年 10 月に国史跡に指定された。今後も文化財の保護・保存に努め、ふるさと意識の高揚に努めていく。

令和 5 年度事業概要

(1) 指定・登録文化財

船橋市内には、国指定 1 件（取掛西貝塚）、県指定 9 件（灯明台他）、市指定 38 件（二宮神社社殿他）、国登録 1 件（東葉高等学校正門）の計 49 件の指定・登録文化財がある。

(2) 保護事業

- ・埋蔵文化財保護は民間・公共事業にかかる文書照会業務 864 件、電話等照会 4,792 件、土木工事の届出・通知 286 件、試掘調査 50 件、工事立会 97 件を実施した。
- ・取掛西貝塚保存事業では、史跡取掛西貝塚保存活用計画策定委員会を 3 回開催し、計画策定に向けて検討を行い、令和 6 年 3 月に「史跡取掛西貝塚保存活用計画」を策定した。
- ・指定文化財保護は、「二宮神社の神楽」で使用する大黒面の修繕や、「高根町神明社の神楽」で使用する衣裝修繕等、2 件の補助を行った。

(3) 普及活動

- ・文化財の普及に関しては、国史跡取掛西貝塚の講演会を 3 月に開催した。また、遺跡マップや取掛西貝塚のパンフレット・リーフレットを小中学校に重点的に配布したほか、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館・各公民館等にも配布した。

また、まちづくり出前講座や市民大学校等へ計 18 回職員の派遣を行い、あわせて 858 人の参加があった。市史跡下野牧二和野馬土手については、隣接地にある二和小学校 3 年生 78 人に出前授業を行った。東中山と飯山満の 2 か所で実施した発掘調査現地説明会では、計 552 人の参加があった。さらに、遺跡説明板 3 基を新規に設置し、文化財説明板 1 基を更新し、取掛西貝塚をはじめとする市内における文化財の普及啓発・周知を図ることができた。

(4) 埋蔵文化財発掘調査

令和 5 年度は、発掘調査報告書を 6 冊刊行した。また、確認調査 24 件、本調査 13 件を実施して縄文時代早期から中近世にいたる遺構を調査し、各遺跡の様子が一層あきらかになった。

3 施設

【市民文化ホール、市民文化創造館、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館、文化課】

(1) 市民文化ホール【市民文化ホール】

①施設の概要

- 所在地 船橋市本町 2-2-5 電話 047 (434) 5555 FAX 047 (434) 5558
JR・東武 船橋駅下車南口 徒歩 7 分、京成船橋駅下車 徒歩 5 分
- 開館 昭和 53 年 7 月
- 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨耐火被覆、地下 1 階、地上 5 階、延べ 4,407.56 m²
- 受付時間 午前 9 時～午後 5 時
- 貸出時間 午前 9 時～午後 10 時（連続 5 日まで使用可）
- 休館日 祝日を除く毎週月曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
- 収容人員 最大定員 1,000 人（椅子席 1,000 席、車椅子スペース有）

○施設

- ・地下1階 奈落、楽屋事務室、第1～6楽屋、駐車場
- ・地上1階 舞台、客席（固定椅子席 573 席、移動椅子席 88 席、車椅子スペース）、ロビー、ホワイエ
- ・2階 客席（固定椅子席 121 席）投光室、ホワイエ、リハーサル室（161 m²）
- ・3階 客席（固定椅子席 218 席）、投光室、空調機械室
- ・中3階 音響室、調光室、映写室
- ・4階 第1シーリング室、第2シーリング室

○舞台設備 舞台面積 356 m²、間口 17m、奥行 13.5m

- ・舞台迫り装置 大迫り、小迫り、オーケストラ迫り
- ・音響反射板装置 一式
- ・ピアノ 2 台
- ・スクリーン装置 スクリーン映写面寸法 W11.3m×H4.8m 映写距離 32m

②令和 5 年度のホールおよびリハーサル室利用状況

○ホール

使用日数 263 日 使用区分数 674 回

団体数 311 団体（125,145 人）

○リハーサル室

使用日数 257 日 使用区分数 599 回

団体数 366 団体（17,066 人）

（2）市民文化創造館（きららホール）【市民文化ホール】

①施設の概要

○所在地 船橋市本町 1-3-1 フェイスビル 6 階 電話 047（423）7261 FAX 047（423）7269

JR・東武 船橋駅下車南口徒歩 2 分、京成船橋駅下車徒歩 2 分

○開館 平成 15 年 4 月

○受付時間 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 8 時

土・日曜日、祝日 午前 9 時～午後 5 時

○貸出時間 午前 9 時～午後 10 時（連続 7 日まで使用可）

○休館日 毎月最終月曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

○収容人員 最大定員 264 人（電動収納式移動観覧席 136 席、椅子 128 席）

○客席 フリーセティング

○ホール面積 285 m²（間口 12.95m×奥行 21.46m×高さ 3.95m）

○付帯設備 控室 A27 m²、控室 B27 m²、ホワイエ 285 m²、調整室 50 m²

○舞台設備 電動昇降式トラスバトン 8 基

電動昇降式美術バトン 1 本 ホリゾン幕兼用スクリーン（W9,500×H3,900）等
残響付加装置（音場支援システム）ピアノ 1 台

仮設舞台 16 台（W2,400×D1,200×H400/1 台）、指揮者台、演台、司会者台、平台等

②令和 5 年度の利用状況

○使用日数 314 日 使用区分数 654 回

○団体数 470 団体（39,501 人）

(3) 郷土資料館【郷土資料館】

郷土資料館は、郷土の歴史、文化等に関する資料の収集、保管、展示を行い、市民の利用に供し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、昭和 47 年 6 月 10 日に開館した。平成 27 年 10 月 1 日よりエレベータ設置・耐震補強工事等のため休館、平成 30 年 1 月 28 日にリニューアルオープンした。

①施設の概要

○所在地 薬円台 4-25-19

○規模等 鉄筋コンクリート造 3 階建

延床面積 1,280.28 m²

○開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

○休館日 毎週月曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、祝日の翌日（土曜日・日曜日・祝日は除く）

○入館料 無料

②収蔵資料（令和 6 年 3 月末現在）

○考古資料 46,317 件（主として旧石器時代から中近世の資料を収蔵）

○民俗資料 4,992 件（農具、漁具、日常生活用具、信仰資料等）

○歴史資料 3,076 件（古文書・古典籍、絵葉書、板碑等）

○図書資料 36,460 件（受贈・交換図書類）

○その他 写真資料およびパネル資料多数

③令和 5 年度の利用者数

○観覧者 18,451 人（公開日数 307 日、1 日平均 60.1 人）

○SL 観覧者 6,644 人（公開日数 118 日、1 日平均 56.3 人）

○教育普及活動参加者 14 事業 3,357 人

(4) 飛ノ台史跡公園博物館【飛ノ台史跡公園博物館】

飛ノ台貝塚は、約 8,000 年前の縄文時代早期の遺跡で、日本で初めて炉穴が発見されたことで名が知られている。

現在までに縄文時代早期の竪穴住居跡 21 軒、小竪穴 4 基、墓坑 1 基、炉穴約 430 基以上、貝塚 40 か所以上が発見されている。また、平地としては日本最古の合葬人骨が発見されたことから、市指定文化財に指定された。

このような貴重な遺跡を保存するとともに、出土した遺物及び市内の縄文遺跡について広く市民に公開するため、縄文専門博物館として平成 12 年 11 月にオープンした。

①施設の概要

展示施設〔概要〕

○所在地 船橋市海神 4-27-2

○敷地面積 3,397.03 m²

○規模等 鉄筋コンクリート造 4 階建

延床面積 2,542.03 m²

内博物館施設面積 1,570.66 m²（海神中学校施設：給食調理室、特別教室と併設）

○施設内容

1 階 展示案内スペース、ギャラリーコーナー他

2 階「飛ノ台貝塚」の展示

3 階「船橋の縄文遺跡」の展示、ワークショップ室、事務室他

4 階 収蔵庫、研究資料室、会議室

史跡公園〔概要〕

○敷地面積 2,323.34 m²

○施設内容 竪穴住居跡や炉穴等の模型を屋外展示している。

○観覧時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

○休館日 毎週月曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、祝日の翌日（土曜日・日曜日は除く）

○入館料 一般 110 円（団体 20 名以上 70 円）、児童生徒 50 円（団体 20 名以上 30 円）

※市内在住の中学生以下は無料

②収蔵資料（令和 6 年 4 月末現在）

○考古資料 実物 16,347 件 模型 83 件 グラフィック 50 件

○図書資料 9,016 件

○その他 45 件

③令和 5 年度の利用者数（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日までの利用者）

○観覧者 26,529 人（公開日数 307 日、1 日平均 86.4 人）

○教育普及活動参加者 7 事業 5,014 人

（5）市民ギャラリー【文化課】

市民ギャラリーは、市民が日頃の芸術・文化活動の成果を気軽に展示発表することができるとともに、市民が身近に芸術作品に親しめる施設として平成 5 年 1 月 12 日に開所した。

平成 7 年 4 月 1 日より、（財）船橋市文化・スポーツ公社に施設の管理運営を委託していたが、平成 17 年度の指定管理者制度の導入により、選定された（財）船橋市文化・スポーツ公社（現（公財）船橋市公園協会）が平成 18 年 4 月 1 日から指定管理者として管理運営をしている。

①施設の概要

◇所在地 船橋市本町 2-1-1（船橋スクエア 21）

建物 一部鉄骨・鉄筋コンクリート造・地下 2 階・地上 10 階建の 3 階分

延床面積 1,080.75 m²

ギャラリー 展示室 4 室・ホール 2 室・事務室・倉庫・パネル収納場所等

②令和 5 年度の利用状況

◇開館日数	360 日	使用団体数	148 件
来所者数	68,426 人	延使用回数	1,619 回
内自主事業		件数	11 件
		来所者数	3,379 人
〃 共催事業		件数	0 件
		来所者数	0 人
〃 市関係各課事業		件数	7 件
		来所者数	20,051 人
〃 有料団体		件数	130 件
		来所者数	44,996 人

(6) 茶華道センター【文化課】

茶華道センターは、茶道・華道はもとより日本古来の伝統文化の舞踊・謡曲・書道・囲碁・将棋・句会等「和」の文化の育成・発展に、不足していた本格的活動の場を提供する施設として、平成 5 年 1 月 12 日に開所した。

平成 7 年 4 月 1 日より、(財) 船橋市文化・スポーツ公社に施設の管理運営を委託していたが、平成 17 年度の指定管理者制度の導入により、選定された(財) 船橋市文化・スポーツ公社(現(公財) 船橋市公園協会)が平成 18 年 4 月 1 日から指定管理者として管理運営をしている。

①施設の概要

◇所在地 船橋市本町 2-1-1 (船橋スクエア 21)

建物 一部鉄骨・鉄筋コンクリート造・地下 2 階・地上 10 階建の 5 階

延床面積 394.75 m²

センター 茶室 3 室・和室 3 室(舞台付 1 室)・庭園・倉庫等

②令和 4 年度の利用状況

◇開館日数	360 日	使用団体数	1,105 件
来所者数	13,371 人	延使用回数	2,624 回
内自主事業		件数	251 件
		来所者数	3,604 人
〃 共催事業		件数	22 件
		来所者数	1,249 人
〃 市関係各課事業		件数	2 件
		来所者数	520 人
〃 有料団体		件数	830 件
		来所者数	7,998 人

9 青少年教育

1 主な事業

【青少年課】

(1) 少年少女交歓大会

市内の青少年団体と一般参加の子供たちが一堂に会し、スポーツなどのイベントを通じ世代間交流や仲間づくりを推進し、青少年の健全育成の推進を図る。

○令和 5 年度実績

期 日：10 月 29 日

場 所：船橋市運動公園

参加延人数：5,036 人

(2) 青少年キャンプ

青少年に集団での野外活動を通じて自らの創意、工夫、仲間づくり、規律や生活習慣等を身に付けさせ、併せて世代間交流とジュニアリーダーの養成を図る。

○令和 5 年度実績

宿泊地：山梨県立八ヶ岳少年自然の家

期 間：7 月 28 日～30 日

参加者：青少年 83 人 指導者等 33 人

対象者：小学 4 年生～中学 3 年生

(3) 津別町青少年交流

生活環境の異なる地域の青少年と、ホームステイや様々な体験活動を通じて、相互理解と地域間交流を推進し、青少年の健全育成を図る。

○令和 5 年度実績

宿泊地：北海道網走郡津別町

期 間：8 月 6 日～9 日

参加者：青少年 28 人 指導者等 10 人

対象者：小学 5 年生～中学 3 年生

(4) ふなばしハッピーサタデー

原則毎月第 3 土曜日を「ふなばしハッピーサタデー」の日として、市内 26 公民館で地域の団体、町会・自治会、学校と連携を図りながら、子供たちがスポーツや文化活動などに親しむことを目的として、様々な事業を実施している。

参加延人数：59,238 人

(5) 社会環境浄化運動

書店などによる有害図書やビデオテープ等の有害な環境から青少年を守るため、昭和 55 年 8 月に「青少年の環境を良くする市民の会」が結成された。現在は各中学校区ごとに防犯パトロールや内閣府が提唱する「家族の日」・「家族の週間」の街頭啓発を行うなどの幅広い社会環境浄化活動を展開している。

2 青少年キャンプ場

【青少年課】

(1) 施設の概要

○所在地…船橋市大神保町 594

○施設…〈管理棟〉管理棟 1 棟、倉庫 1 棟

〈第 1 キャンプ場〉かまど・炊事場・広場各 1 か所、トイレ 1 棟

〈第 2 キャンプ場〉かまど・炊事場・広場各 1 か所、トイレ 1 棟、避難棟 2 棟

〈第 3 キャンプ場〉かまど・広場各 1 か所

〈宿泊研修棟（さざんかの家）※〉宿泊研修棟 1 棟、かまど・炊事場各 1 か所

〈駐車場〉70 台

※宿泊研修棟（さざんかの家）は耐震診断の結果、倒壊する可能性が高い評点「0.7 未満」となったことから、令和元年 9 月下旬より利用を中止。

○面積…81,200 m²

○貸出物品…〈キャンプ場〉テント 60 張、コッヘル 40 組、リヤカー 4 台、一輪車 2 台、清掃用具

（備品） 〈宿泊研修棟〉机 15 脚、椅子 20 脚、座布団 60 枚、ポット 4 本、冷蔵庫 1 台、電気ストーブ 3 台、清掃用具

教育委員会

(2) 利用対象

青少年（未成年）を含むグループ・団体等

(3) 沿革

昭和 51 年 4 月 印旛郡白井町に開設。

昭和 59 年 3 月 周辺の宅地開発が進み、利用に弊害が生じたため、白井キャンプ場を廃止。

昭和 59 年 4 月 大神保青少年キャンプ場を開設。

昭和 60 年 7 月 キャンプ場に隣接する農家住宅（古民家）を譲り受け、宿泊研修棟（さざんかの家）とし施設の充実を図る。

（規模）50 人未満 床面積 171.07 m²

(4) 利用状況

施設別		年度	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
キャンプ場	利用団体数(団体)		714	310	431	602	566
	利用者数(人)		12,154	2,973	5,715	9,417	9,409
宿泊研修棟	利用団体数(団体)		66	—	—	—	—
	利用者数(人)		1,091	—	—	—	—
合計	利用団体数(団体)		780	310	431	602	566
	利用者数(人)		13,245	2,973	5,715	9,417	9,409

3 青少年センター

【青少年センター】

(1) 施設の概要

○所在地…船橋市本町 1-23-7

○構造…鉄筋コンクリート造り 3 階建て

1 階…海神第 2 保育園 2・3 階…青少年センター

○施設…事務室、相談室、個別学習室、多目的室、プレイルーム

(北部分室)

○所在地…船橋市高根台 4-32-6

○構造…木造スレートぶき 2 階建て

○施設…事務室、面談室、学習室

(2) 補導状況

年度	30	元	2	3	4	5
行為別						
喫煙	9	0	0	0	0	0
不健全娯楽	0	0	0	0	0	0
不良交友	0	0	0	0	0	0
自転車二人乗り	2	0	0	0	0	0
怠学	0	0	0	0	0	0
飲酒	0	0	0	0	0	0
帰宅指導	171	232	16	79	93	86
迷惑行為	21	13	0	0	11	0
上記以外の声かけ	168	215	36	55	225	237
計	371	460	52	134	329	323

(3) 相談状況

※平成 30 年度より来所・訪問相談合計の件数とし集計方法を見直した(通所生徒含む)。

年度 行為別	30	元	2	3	4	5
不登校	3,063	2,056	1,423	881	1,089	1,175
登校渋り	120	37	14	9	12	164
集団不適應 (反)	39	17	2	87	107	161
集団不適應 (非)	0	61	220	189	100	132
いじめ	0	5	12	53	50	27
進路	5	4	1	0	0	185
不良交遊	16	70	76	0	1	15
暴力行為	132	71	35	30	12	61
暴行被害	0	0	0	0	0	0
窃盗・盗難・万引き	24	1	9	4	1	0
金品持ちだし	2	2	0	0	5	1
家庭内暴力・反抗	2	147	63	20	34	0
恐喝	0	0	0	0	0	0
男女交際・不純異性交遊	166	70	0	0	0	0
DV・虐待	0	0	44	6	1	0
家出	0	1	0	0	0	9
しつけ	2	1	0	0	2	6
情緒不安定	37	33	48	21	4	93
その他	0	1	8	20	62	19
計	3,608	2,577	1,955	1,320	1,480	2,048

※ (反) とは反社会的行為 (非) とは非社会的行為

4 青少年会館

【青少年課】

県有財産である施設を昭和 55 年 12 月 1 日から市が無償貸付を受け、昭和 56 年 1 月 10 日より開館している。平成 24 年 4 月 1 日県より無償譲与。

(1) 施設の概要

- 所在地…船橋市若松 3-3-4
- 構造…鉄筋コンクリート造り 2 階建て
- 敷地面積…6,648.61 m²
- 建築面積…2,033.33 m²
- 研修棟 1 階 603.04 m² 2 階 623.83 m² 体育館 806.46 m² (フロアー 640 m²)
- 施設…学習室、会議室、集会室、音楽室、調理実習室、和室、美術工芸室等

(2) 利用状況

年度	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
利用者数 (人)	39,864	20,952	29,976	41,555	42,279

5 一宮少年自然の家

【青少年課】

(1) 施設の概要

- 所在地…長生郡一宮町東浪見 7493-2
- 構造…鉄筋コンクリート造り 3 階建て
- 施設…事務室、研修室、宿泊室 (25)、談話ホール、保健室、食堂、浴室、体育館、工作棟

教育委員会

○敷地面積…33,774.58 m²

○建築面積…1,915.73 m²

○延床面積…3887.84 m²

○宿泊人員…200 人

(2) 利用対象

○教育課程に基づき利用する少年

○少年団体の構成員

○少年団体の引率者・育成者

○その他教育委員会が必要があると認める者

(3) 必要経費

○利用料 (1 人 1 泊)

利用者の種別	宿泊(1 人 1 泊につき)	一時利用(1 人につき)
幼児 (4 歳以上)	190 円	90 円
小学生・中学生	380 円	190 円
高校生	770 円	380 円
引率者・育成者	1,540 円	770 円
その他の者	2,310 円	1,150 円

市内の幼児、小学生・中学生は無料、市外は表の金額の 2 倍に相当する額

○食費 朝食 550 円 昼食 650 円 夕食 850 円

特別食 1,100 円 (夕食時のみ通常メニューと変更して提供が可能)

(4) 利用状況

年度	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
利用者数 (人)	16,031	1,665	10,296	18,370	21,999

10 生涯スポーツ

【生涯スポーツ課】

1 沿革

昭和 24 年、船橋市体育協会が創立され、事務局を市役所教学課の中に設けて活動を始めた。翌 25 年、教育委員会が発足し、事務局は社会教育課に移され、市民の健康増進と体力づくりの企画がなされ、体育協会が中心となって各種の市民大会が行われるようになった。

昭和 37 年、3 か年計画で金杉町に総合運動公園施設の建設工事が開始されるとともに、4 月、保健体育課が置かれ、学校体育と社会体育の 2 本立てで体育行政に取り組むことになった。昭和 38 年 6 月、体育指導委員制度が確立し、39 人の委員が委嘱され、地域と結びついた社会体育の基盤ができあがった。

昭和 40 年 10 月、市民待望の運動公園が完成し、四季を通じて市民の自然に親しむ姿が見られるようになった。昭和 47 年には、行政面でも保健体育課からスポーツセンターとして独立し、同時に体育館も完成し、新管理棟で事務をとることになった。また、昭和 48 年 10 月の若潮国体には、馬術、ウエイトリフティング、体操の開催地として成功させた。

昭和 42 年より続いている学校体育施設開放事業も小・中学校の協力を得て生涯スポーツ振興のため開放している。また、学校プール開放についても、昭和 55 年に中学校 13 校、昭和 56 年には小学校 15 校、中学校 5 校を開放し、昭和 57 年からは、小学校のみを対象に開放するようになった。昭和 60 年には、小学校 55 校の

全校を開放するに至った。

昭和 50 年 7 月から「スポーツセンター」が「社会体育課」となるとともに、市民スポーツをより一層向上させるため、昭和 51 年 4 月「スポーツ振興審議会」が設けられた。施設的にも夜間照明施設の整備充実、大穴市民プール・高瀬町運動広場の開設等、地域スポーツのより一層の活発化に寄与している。また、昭和 57 年には坪井中、大穴中、法田中、昭和 58 年には、宮本中、二宮中、昭和 59 年には、高根中、小室中、そして昭和 60 年には葛飾中、三田中の運動場に夜間照明設備を設置し、市民に開放している。

昭和 58 年 10 月 10 日、スポーツ活動を通して市民の健康増進と連帯感を深めるため、「スポーツ健康都市宣言」を行い、「スポーツ健康都市推進委員会」が発足し、企画部に事務局が置かれた。昭和 60 年 4 月 1 日、「スポーツ健康都市推進委員会」の事務局が、社会体育課に移された。また市内各地域に「まちかどスポーツ広場」を設置し、市民の軽スポーツの場に供している。

昭和 61 年 4 月 5 日には、地域に根ざしたスポーツ健康活動を通じて健康で豊かな心と体を育て、活力ある近代的都市づくりの担い手となるコミュニティリーダーの育成を図るため、スポーツ健康大学を開校した。

昭和 62 年 5 月 30 日には「武道センター」がオープンし、武道指向の市民の利用に供するとともに、スポーツによる市民の体力向上、健康増進を目指すこととなった。また、10 月 10 日には、市制 50 周年及び「スポーツ健康都市宣言」5 周年を記念し、恒例の「スポーツの祭典」を盛大に催した。

平成元年 3 月、大穴市民プールの既設プールを有効活用した太陽熱利用のプールハウスが完成し、これにより 5 月から 10 月までの使用が可能となった。

また、スポーツ国際交流の一環として、友好交流促進都市である中国・西安市から気功指導者を招き、講習会を開催した。平成 2 年には、西安市へ気功研修団を派遣し友好を図った。

平成 3 年度より 3 か年継続事業として、習志野台地区に総合体育館の建設に着手した。

平成 4 年には、「スポーツ健康都市宣言」10 周年を記念し、前夜祭を含め 10 月 9 日から 11 日までの 3 日間で「スポーツ健康の祭典」を実施した。

平成 5 年には、千葉県で第 6 回全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレク '93in ちば）が開催され、ソフトバレーボール（市民体育館）の開催地となった。平成 6 年 1 月には、5,000 人収容のメインアリーナを持った総合体育館がオープンし、運動公園とあわせて、市内の東西にスポーツの拠点施設が整備された。また、10 月には市民から総合体育館の愛称を募集した結果、「船橋アリーナ」に決定し、平成 7 年 1 月から使用している。

平成 8 年 11 月には、船橋市・西安市との友好都市交流の一環として西安城壁国際マラソン大会を開催し、船橋市からは総勢 420 人が参加した。

平成 9 年度は、市民元旦マラソン大会と汗一平ロードレースを併合し、新たに「市民マラソン大会」として発足し、11 月 16 日に実施した。気功講習会の受講者は延べ 2,629 人となり、初期の目的達成の観点から 9 年度をもって終了とした。

平成 10 年には、体育協会創立 50 周年を迎え記念の各種事業を開催した。また、7 月 1 日から課名を「社会体育課」から「生涯スポーツ課」に改称した。

平成 11 年度第 52 回千葉県民体育大会において、32 年ぶり 3 回目の男女総合優勝を遂げた。

平成 12 年 10 月に法典公園がオープンし、西地区のスポーツ・レクリエーション施設の核となった。

平成 15 年 5 月に、「スポーツ健康都市推進委員会」は満 20 年を迎え、初期の目的を達成したとして、終息・解散した。

平成 16 年 4 月にスポーツ健康大学は、老人大学、ボランティア大学等と統合してスタートした「ふなばし市民大学校」のスポーツ健康学科へ移行した。

教育委員会

平成 17 年 8 月、全国高等学校総合体育大会が千葉県で開催され、船橋市ではバスケットボールとアーチェリーを実施し、盛況のうちに終了した。

平成 18 年 3 月、大穴市民プールの太陽熱プールハウスを老朽化により撤去した。

平成 18 年 4 月から、総合体育館と武道センターに指定管理者制度を導入した。また、同年 5 月に、豊富運動広場（少年野球場）がオープンし、8 月からは、自動体外式除細動器（AED・2 台）の貸し出しを始めた。

平成 19 年度第 58 回千葉県民体育大会で、6 大会ぶりに男女総合優勝を遂げた。

平成 19 年 1 月から、体育施設のインターネット予約を開始した。

平成 19 年 6 月に市制 70 周年記念事業 NHK 特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会を実施し、同年 12 月には第 24 回千葉県体育指導委員研究大会が開催された。

平成 20 年 4 月、大穴市民プールを老朽化及び利用者の減少により廃止した。

総合型地域スポーツクラブとして、平成 10 年「大穴スポーツクラブ」平成 16 年「塚田ジュニアスポーツクラブ」平成 18 年「八木が谷スポーツクラブ」に続き、市内 4 番目の団体として平成 23 年には、「ならだいスポーツクラブあまなつ」が設立された。

平成 24 年 3 月には「薬円台みんなのクラブ」が設立され、市内 5 番目の団体として活動を開始した。

平成 23 年 4 月から総合体育館と武道センターについて 2 期目の指定管理者の指定をした。

平成 24 年 3 月に八木が谷中の運動場に夜間照明設備を設置した。

平成 24 年 8 月、スポーツ基本法の全部改正に伴い、平成 23 年 12 月 20 日より船橋市スポーツ振興審議会条例を船橋市スポーツ推進審議会条例に変更した。同じく平成 24 年 4 月 1 日より船橋市体育指導委員が船橋市スポーツ推進委員と改名した。

平成 24 年 7 月 1 日、大穴市民プール跡地に天然芝の多目的運動広場を開設した。

平成 27 年 5 月にはプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」と相互連携・支援協力についての協定を締結した。

平成 28 年 4 月から総合体育館と武道センターについて 3 期目の指定管理者の指定をした。

平成 28 年 5 月に行田運動広場、平成 28 年 10 月に高瀬下水処理場上部運動広場が開設した。

平成 29 年 7 月、運動公園プールがリニューアルオープンした。

平成 30 年 4 月、パラスポーツ協議会を設置した。

令和元年 6 月、東京 2020 オリンピックに向けたアメリカ男子体操チームの事前合宿を受け入れ、市民と選手による交流プログラムとして、練習風景の一般公開や体操体験会、市内小学校での給食体験等を実施した。

令和 3 年 1 月から運動公園と法典公園に指定管理者制度を導入した。

令和 3 年 4 月から総合体育館と武道センターについて 4 期目の指定管理者の指定をした。

令和 3 年 7 月、東京 2020 オリンピックに向けたアメリカ男子体操チームの事前合宿を受け入れ、市内小学校とのオンライン交流を実施した。

令和 5 年度には、「スポーツ健康都市宣言」40 周年を記念し、年間を通して冠・ロゴデザインの使用を募るとともに、7 月「スポーツ講演会」、10 月「スポーツフェスタ」、1 月「市立船橋スポーツフェスティバル」を開催した。

2 スポーツ健康都市宣言

すべての市民が、豊かで生きがいのある生活を送るためには、健康であることが必要不可欠な条件である。市民一人ひとりの健康は、明るい家庭、活力のあるまちづくりの源といえる。

スポーツを通じて、ちびっこからお年寄りまでの健康、青少年の健全育成、新しいコミュニティづくりを達

成するため、昭和 58 年 10 月 10 日スポーツ健康都市宣言を行い「スポーツ健康都市づくり」に対する市民意識の高揚に努めている。

宣言文

私たち船橋市民は、地域に根ざしたスポーツ活動を通じて、健康で豊かな心とからだを育て、活力ある近代的な都市をめざして、ここにスポーツ健康都市を宣言します。

1. 市民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康な生活を営もう。
1. みんなでスポーツを楽しむ機会をつくり、こどもを健やかに育てよう。
1. スポーツを通じて、いきいきとした地域の輪を広げよう。
1. スポーツを通じて、多くの仲間とふれあい、はずむ心を世界に伸ばそう。

3 令和 5 年度事業実績

- スポーツ教室 指定管理者の自主事業として実施し、延べ 79,580 名が参加した。
- 市民体育大会 春季・夏季 31 競技、秋季 35 競技を開催し、合計 46,723 名が参加した。
- (実施競技) 野球・相撲・卓球・柔道・バレーボール・剣道・ソフトテニス・陸上競技・水泳・空手道・バスケットボール・サッカー・テニス・ソフトボール・アーチェリー・クレール射撃・ライフル射撃・弓道・セーリング・バトミントン・なぎなた・アマチュアゴルフ・フェンシング・ゲートボール・少林寺拳法・合気道・ダンススポーツ・ペタンク・一輪車・フライングディスク・バウンドテニス・ドッジボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ・インディアカ・ダーツ・テコンドー
- 2023 船橋市民マラソン大会 747 名が参加した。
- 第 68 回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会 4 年ぶりの開催に 61 チーム 464 名が参加した。
- 第 42 回船橋市小学生・女子駅伝競走大会 85 チーム 742 名が参加した。

4 施設一覧

施設名	竣工年月	面積 (㎡)	設備内容	備考
運動公園陸上競技場	昭和 40 年 10 月	23,570	日本陸連第 2 種公認、会議室、医務室、事務室、役員室、ロッカー室、シャワー室、電気室、倉庫、拡声装置一式ほか、その他 2 種公認グラウンドとしての器具、用具一式	コンクリートスタンド 2,000 人 芝生 5,000 人
運動公園野球場 (船橋市民球場)	昭和 40 年 10 月	14,186.78	センター120m、両翼 90m、本部室、役員室、事務室、医務室、用具室、電気室、ロッカー室、シャワー室、拡声装置一式、スコアボード、夜間照明設備ほか	コンクリートスタンド 4,500 人 外野芝生スタンド 3,000 人
運動公園庭球場	昭和 40 年 10 月 (50 年 3 月 1 面増設)	5,900.63	砂入人工芝 5 面、更衣室、夜間照明ほか	コンクリートスタンド 400 人
運動公園プール	平成 29 年 7 月	14,700	50m プール 9 コース(日本水連公認)、25m プール 8 コース、プール(流水、児童・幼児、造波、ドーム型滑り台、回転スライダー、直線スライダー、ターザンロープ)、事務室、更衣室、洗眼水飲場、器具・機械室、保健室	コンクリートスタンド 300 人

教育委員会

施設名	竣工年月	面積（㎡）	設備内容	備考
運動公園体育館	昭和 47 年 5 月	本棟 6,461.85 管理棟 719.92	バスケットボール 3 面、バレーボール 3 面、テニス 3 面、バドミントン 12 面、卓球 30 台	2・3 階固定席 1,836 人
運動公園弓道場	昭和 48 年 3 月	461.52	夜間照明設備 近的 5 人立	
法典公園 （グラスポ）	平成 12 年 10 月	56,678.49	テニスコート、（砂入人工芝 13 面）、球技場、多目的広場、子供遊び広場、芝生 広場、体育レクリエーション室、集会室（2 室）、和室（2 室）、多目的ホール	
総合体育館 （船橋アリーナ）	平成 5 年 8 月	第 1 棟 10,080 第 2 棟 9,951	1 棟 メインアリーナ、役員室、選手控室ほか サブアリーナ、屋内温水プール、多目的室、卓球室、トレーニング室、浴室ほか	観覧席 1 階可動席 1,526 人 2 階固定席 2,650 人 特別席 64 人
武道センター	昭和 62 年 3 月	床面積 2,496.40	1 階 事務室、相撲場、会議室ほか 2 階 第一武道場（柔道場）、更衣室ほか 3 階 第二武道場（剣道場）、更衣室ほか	床面積は駐輪場部分を含む
若松庭球場	昭和 56 年 6 月	1,761	全天候ハードコート 2 面	
若松野球場	昭和 56 年 6 月	13,426	一般用 2 面	
高根木戸近隣公園庭球場	昭和 38 年 1 月	2,090	砂入人工芝 3 面	
北習志野近隣公園庭球場	昭和 43 年 4 月	4,465	砂入人工芝 6 面	
行田運動広場	平成 28 年 3 月	20,214	多目的広場、用具倉庫、トイレ	
高瀬下水処理場 上部運動広場	平成 28 年 7 月	23,887	多目的広場、用具倉庫、トイレ	
高瀬町まちかど スポーツ広場	昭和 54 年	65,764	野球場（1 面）、少年野球場（4 面）、球技場（1 面）	
藤原まちかどスポーツ広場	昭和 57 年 6 月	7,298	多目的広場、用具倉庫、トイレ	
豊富まちかどスポーツ広場 （少年野球場）	平成 18 年 5 月	12,148	少年野球場（2 面）、用具倉庫、トイレ	
大神保町まちかど スポーツ広場	令和 3 年 4 月	9,325	多目的広場、用具倉庫、トイレ	

5 年度別施設利用状況

施設 年度	運動公園	若松公園	法典公園 （グラスポ）	その他 施設	総合体育館 （船橋アリーナ）	武道センター	合計
30	408,509	39,749	178,594	274,739	751,449	94,521	1,747,561
令和元	373,971	41,498	179,287	277,448	698,734	85,991	1,656,929
令和 2	165,461	25,186	138,542	198,903	267,856	49,830	845,778
令和 3	239,844	45,890	161,010	262,155	381,946	54,777	1,145,622
令和 4	388,933	64,968	191,399	266,779	644,872	83,287	1,640,238
令和 5	454,610	38,172	150,049	274,815	715,536	81,082	1,714,264

6 学校体育施設の開放

（1）目的

市立小中学校等の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で、スポーツ活動の場として開放し、もって健

康増進および生涯スポーツの普及振興に資することを目的とする。

(2) 利用者

市内に居住し、又は通勤し、若しくは通学する者が、スポーツを行うことを目的として組織する10人以上の団体で、船橋市教育委員会に登録されたもの。プールについては、小学生以上に個人開放する。

(3) 開放方法

区分	体育施設	開放日時	開放期間	開放の単位
小学校	運動場	開放校ごとに定める。	4月～3月	運動場及び体育館の使用時間は 1団体1回につき3時間以内とする。
	体育館		夏季休業中	
	プール			
中学校	運動場		4月～3月	
	体育館			
	運動場夜間照明灯	月曜日及び祝日の翌日 を除く19時～21時	4月～10月	
高等学校	運動場	月曜日から金曜日の 9時～15時	4月～3月	1団体1回につき3時間以内とする。

(4) 令和5年度開放状況 () は特別支援学校

施設	小学校等	中学校	高等学校	計	利用者数
運動場	55(1)	20	1	76(1)	333,636
体育館	55(1)	27	—	82(1)	505,905
プール	—	—	—	—	—
学校ナイター (運動場夜間照明灯)	—	10	—	10	1,727
計	—	—	—	—	841,268

※令和5年度のプール開放については、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したが、感染症状況の見通しが不透明であり、本来の目的である学校プール事業の実施状況等を鑑みて休止とした。